

# 沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

## 【現状】

### 新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（6月20日-26日）の新規陽性者数は9,065人（先々週8,017人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)<sup>\*1</sup>は1.06 [最小値0.32-最大値1.40]、このうち那覇市は1.15 [0.56-1.39]でした。また、宮古は1.13 [0.41-1.65]、八重山は1.44 [0.66-2.05]でした（図1）。全県的に陽性者数が増加に転じています。

\*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[ ]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

### 保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部689人（先々週634人）、中部3,262人（先々週3,035人）、那覇市1,785人（先々週1,444人）、南部2,726人（先々週2,463人）、宮古201人（先々週179人）、八重山361人（先々週212人）でした。那覇市と宮古、八重山において増加しており、北部、中部、南部は横ばいで推移しています（図2）。

県外からの渡航者は39人（先々週42人）でした。最多の渡航元は東京都の14人で、茨城県4人、愛媛県3人と続き、17都道府県に渡ります。

### 年齢階級別推移

年齢階級別では、10代1,791人（20%）と最多であり、10歳未満1,698人（19%）、30代1,404

人（16%）と続きます（図3）。先々週（6月13日-19日）から先週（6月20日-26日）への増減率をみると、とくに高齢の男性で増加が顕著です（図4）。また、推移をみると直近で10代において急速に増加しています（図5）。

### 入院患者数推移

先週の新規入院患者数は183人（先々週187人）でした。このうち70歳以上の高齢者が118人（64%）を占めています。入院患者数は先週末時点で302人（6月19日時点295人）と横ばいで推移していますが、このうち酸素投与など中等症患者は152人（6月19日時点175人）と減少しています。気管挿管など重症患者は3人（6月19日時点2人）でした（図6）。

一方、社会福祉施設で療養されている陽性者は、先週末時点で32施設228人（6月19日時点209人）と増加しています（図7）。

### オミクロン株ゲノム解析

6月13日から22日までに県内で収集された228検体について変異株スクリーニングを行ったところ、オミクロン株の派生型「BA.4」または「BA.5」が疑われるL452R陽性を14検体（6.1%）で確認しました。地域別では、中部が11/93検体（11.8%）と集中しており、南部1/51検体（2.0%）、那覇市1/40検体（2.5%）でした。また、那覇空港1/8検体（12.5%）でした。これら14検体についてゲノム解析を行ったところ、9検体についてBA.5と確認しましたが、5検体は判定不能でした。

## 【今後の見通しと対策】

沖縄県では、全県的に感染が拡大しており、とくに高齢男性での増加が顕著となっています。施設内や家庭内における感染が多いですが、会食における感染例も散見され、この世代の活動性が増してきている可能性があります。

公共の屋内施設に入るときや、至近距離で他人と会話するようなときは、飛沫感染を予防するためマスクを着用してください。また、スーパーなど公共の場所へ出かけるときは、こまめに手指衛生を心掛けましょう。一方、屋外でのマスクは手の届く距離で対話するような状況でなければ不要です。

梅雨明けとともに、イベントへの参加を予定されている方も多いと思います。できるだけ多人数での会食は避けるとともに、回数も減らすようにしてください。また、選挙期間中ですが、選挙事務所や祝勝会での集団感染には十分にご注意ください。高齢者の自宅に集まったの寄り合いも避けてください。

発熱や咳などの症状を認めるときは、軽症であっても外出を自粛し、できるだけ人に会わないようにすることが極めて重要です。症状が軽快していたとしても、風邪症状を認めた日から7日間程度は、高齢者など重症化リスクの高い人に会わないように注意してください。

高齢者をはじめ重症化リスクのある方々は、ワクチン接種を最新の状態としてください。適切な生活習慣を保った食事や運動、睡眠を心がけ、医師の指導を守って内服を忘れず、基礎疾患を良好なコントロールに保つことも重症化予防において重要です。

感染力を増したとされるオミクロン株の派生型「BA.5」への置き換わりが進んでいます。現在県

内で流行している BA.2 よりも感染力が高いと考えられており、今後、置き換わりながら来月以降の流行における主力になっていくと考えられます。なお、BA.5 の病原性が上昇したとの報告はありません。

先週末時点において、重点医療機関におけるコロナ病床の占有率は、北部で 92.5%と極めて高くなっていますが、その他の地域は 50%以下を保っています。一方で、コロナ以外の病床のひっ迫状態が続いており、沖縄本島では 90%以上となっています（図8）。

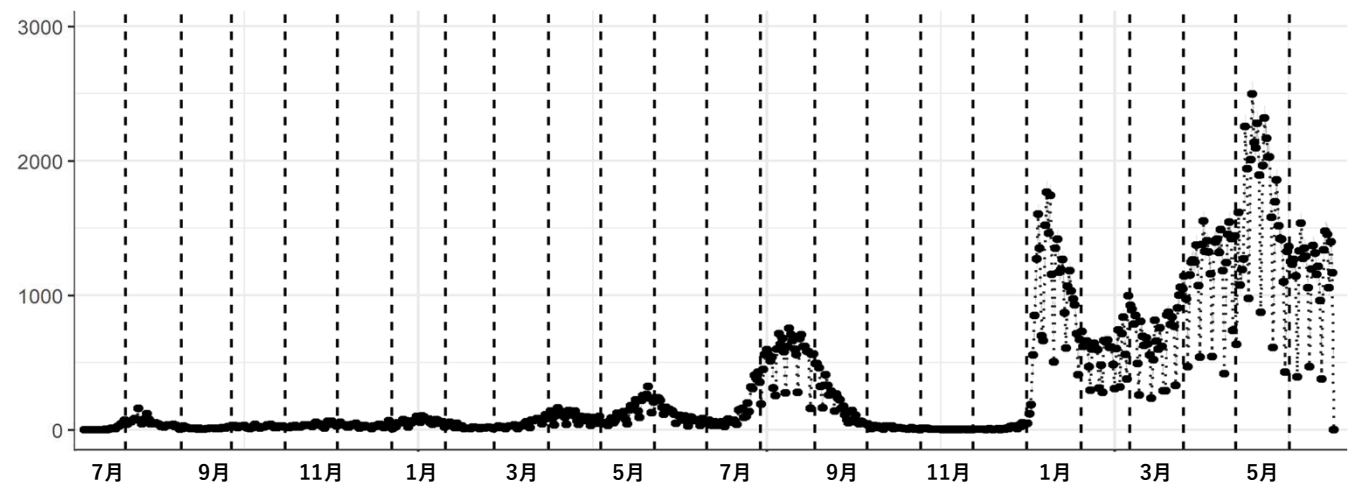
これから夏に向けて感染が拡大するものと考えられ、一般医療機関や高齢者施設との役割分担を進めていかなければ、住民の健康を総合的に守ることが難しい状況となっています。住民の皆様も医療の適正利用を心がけてください。

今週の新規陽性者数は 10,000-14,000 人となり、今週末までに入院患者数は 300-350 人に至ると見込まれます（図9）。急速な拡大は来月中旬以降と考えられますが、BA.5 の市中における拡がりによっては、さらに早まる可能性があります。

# 図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

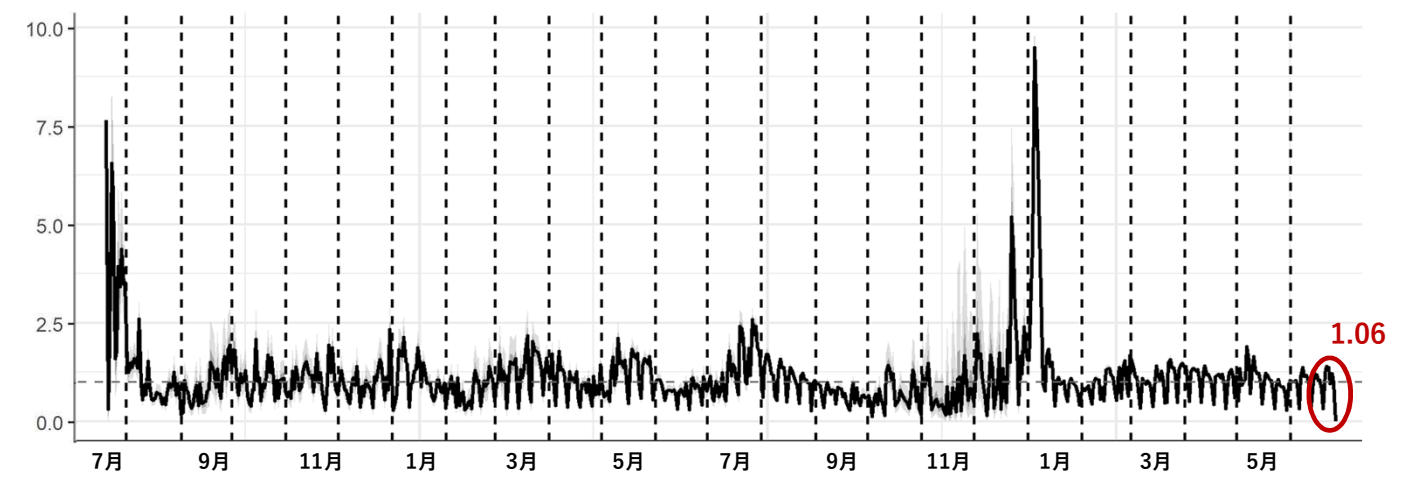
陽性者数 (確定日)  
日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)

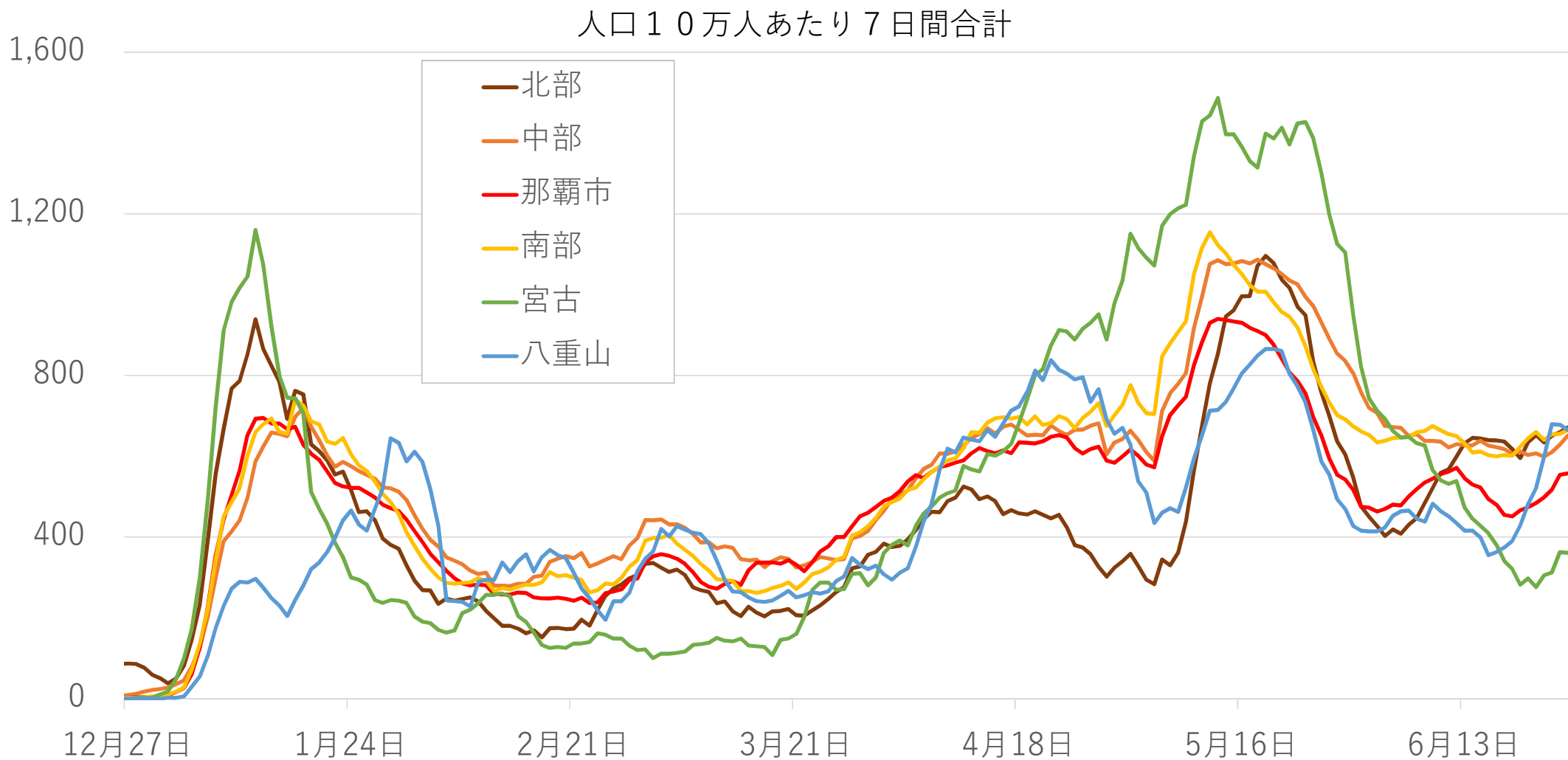


実効再生産数  
直近7日間平均値

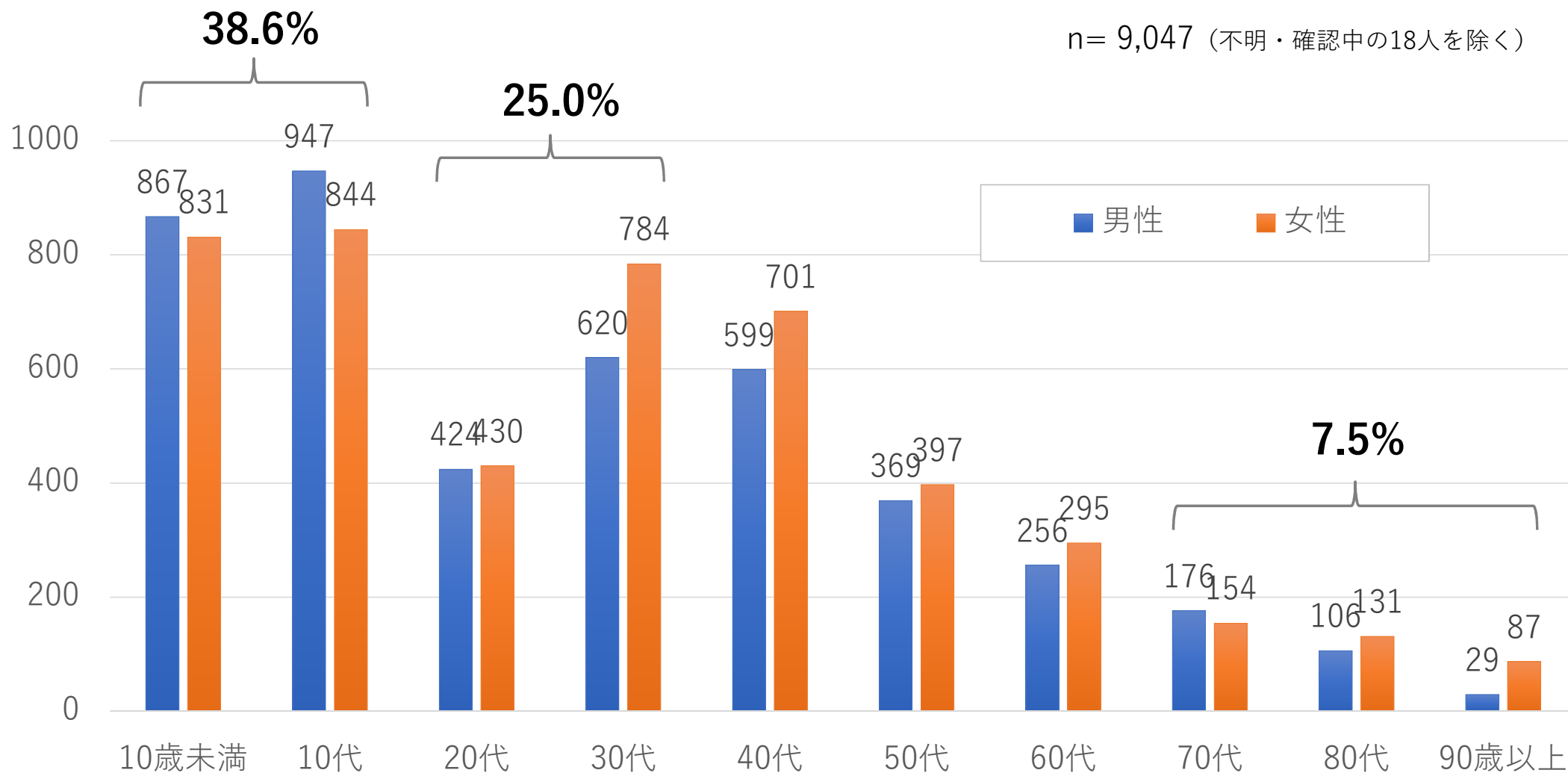
北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)



# 図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

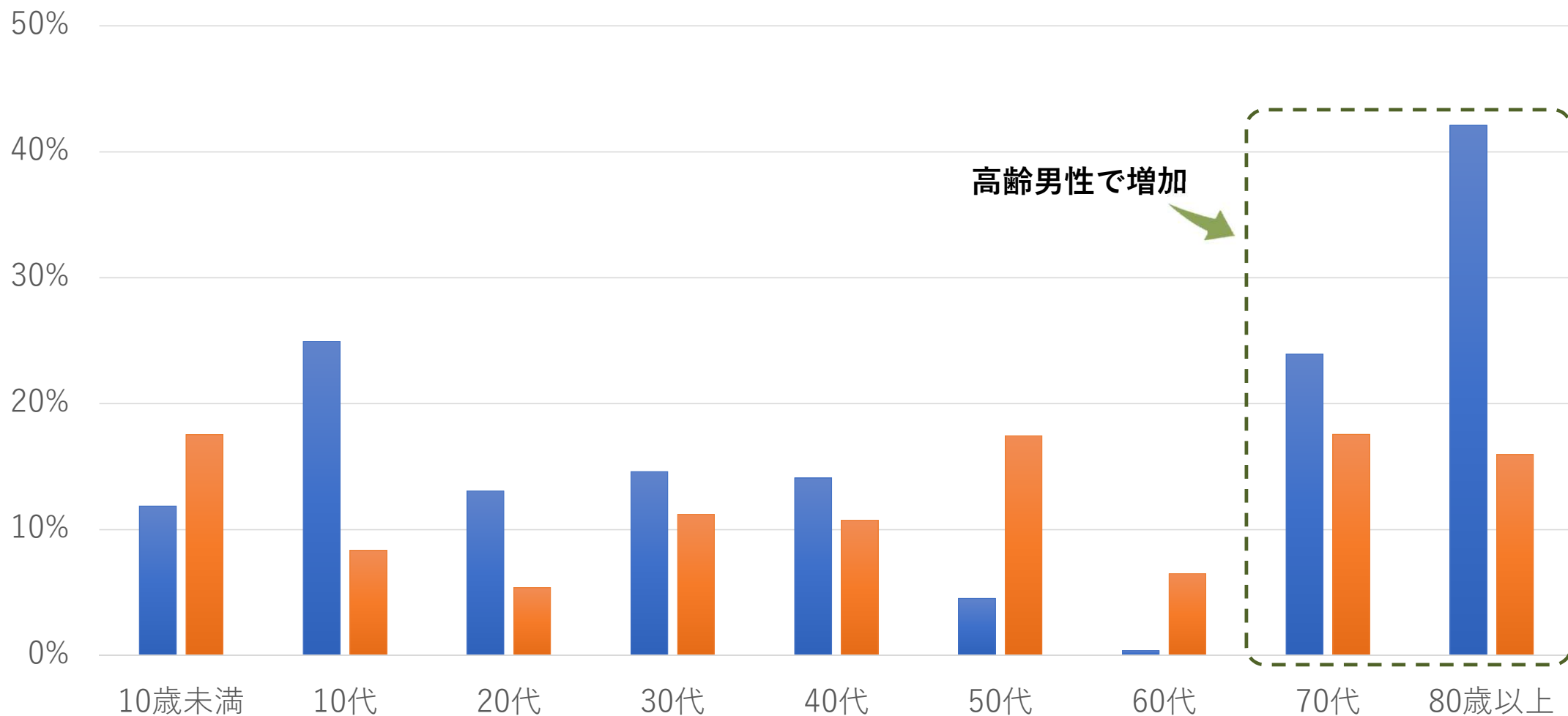


# 図3 性年齢階級別に見る陽性者数 (6月20日~26日)

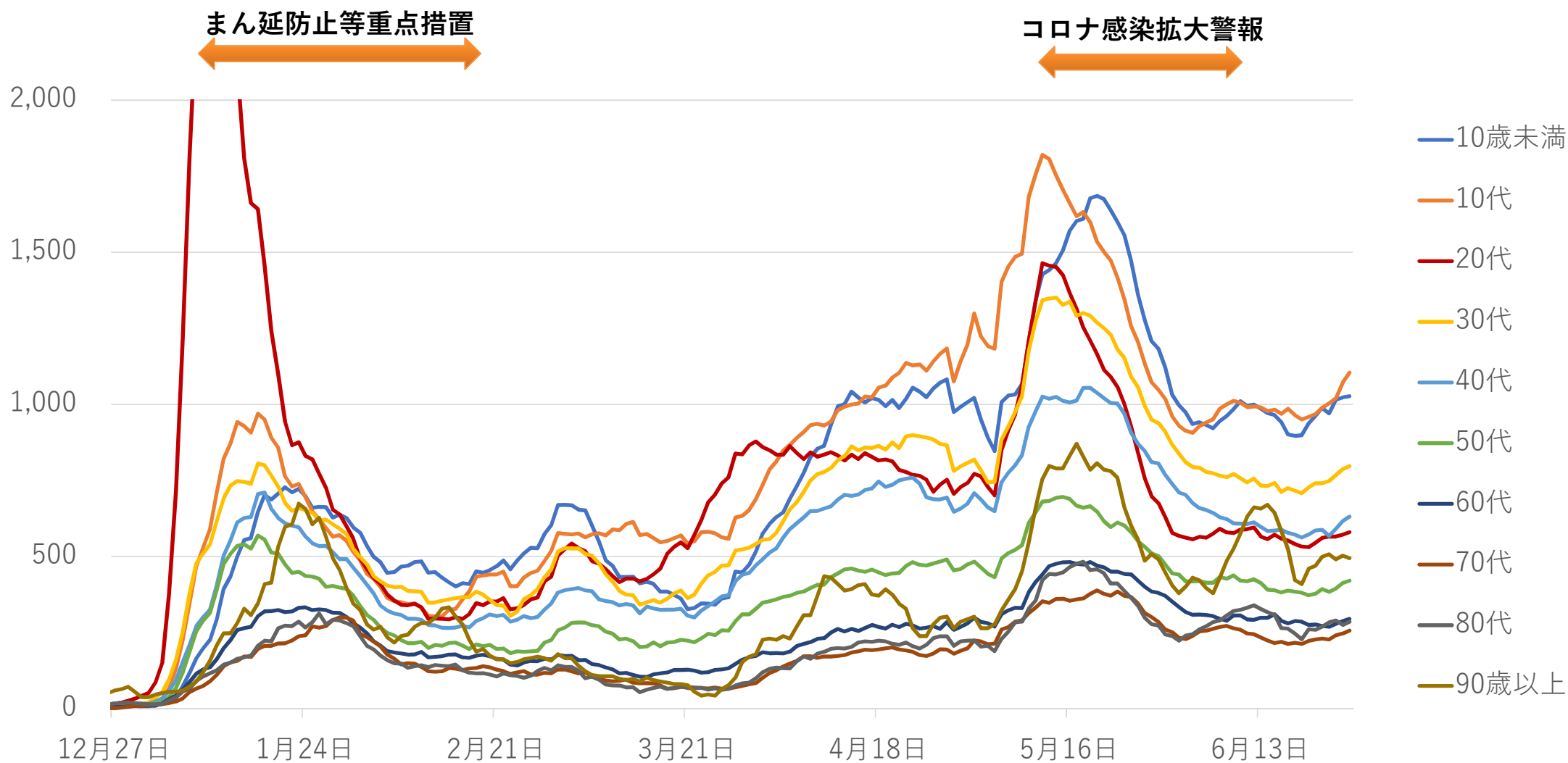


## 図4 性年齢階級別に見る陽性者数の増減率

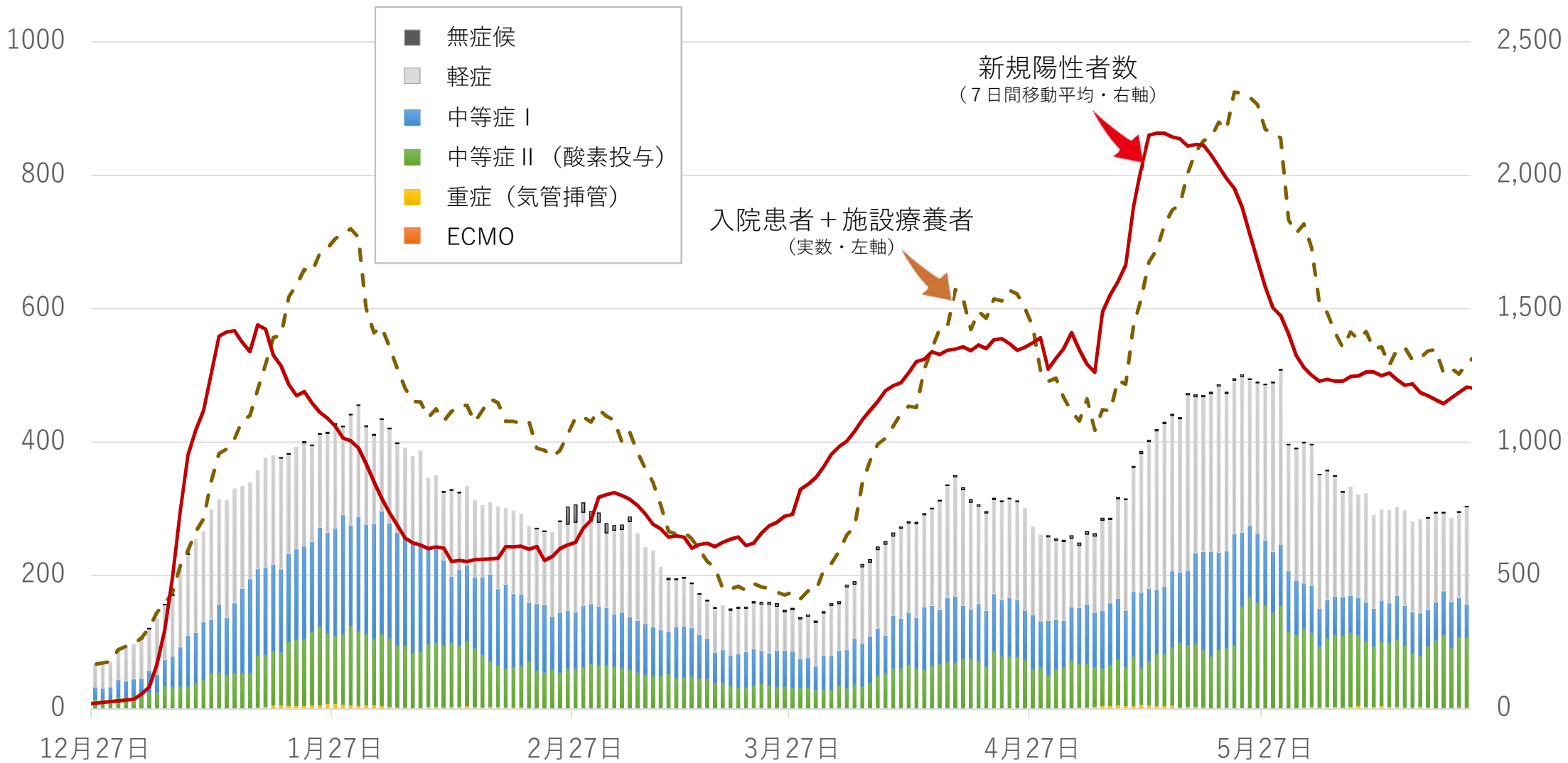
増減率 = 6月20日-26日 / 6月13日-19日



# 図5 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

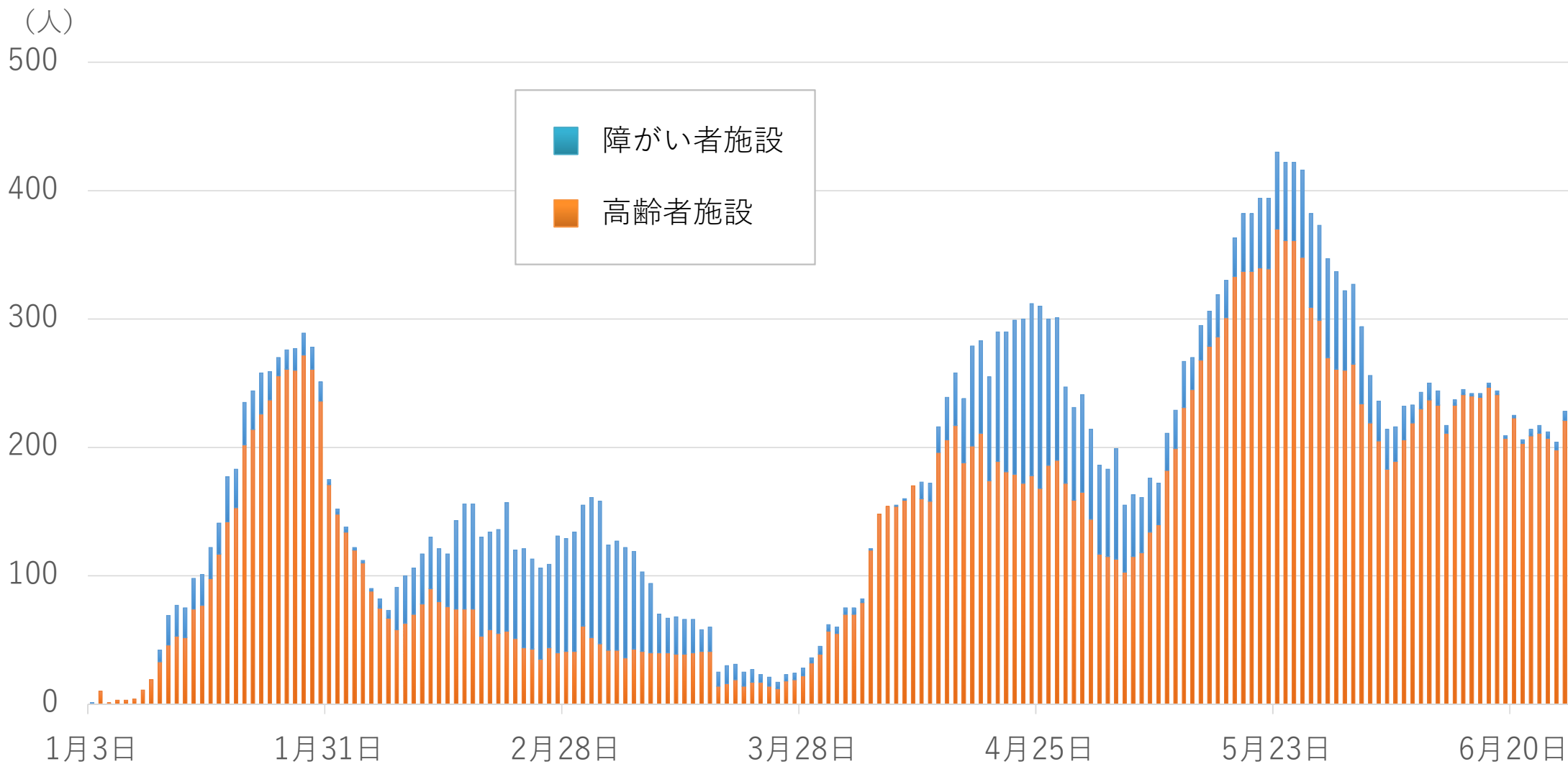


# 図6 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

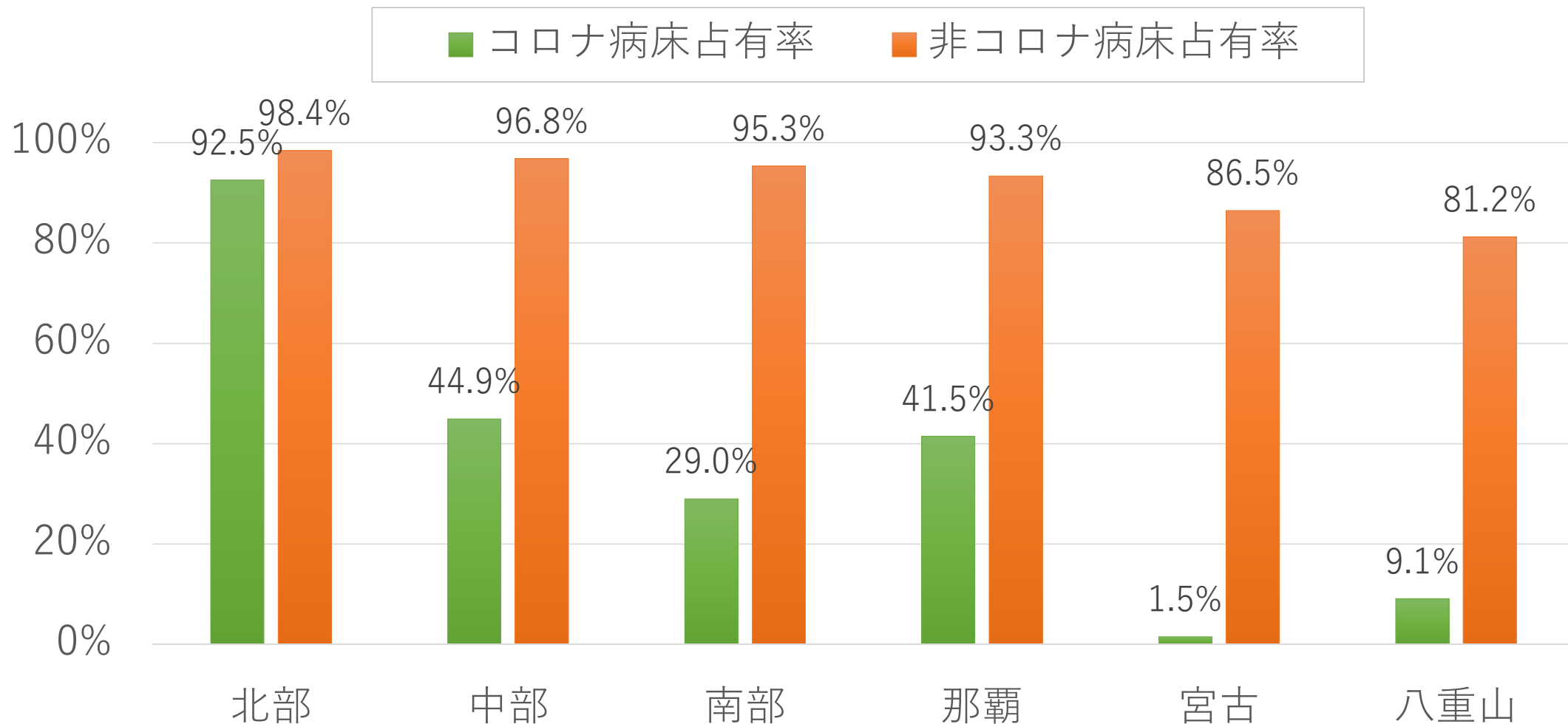




# 図7 社会福祉施設における施設内療養者数



# 図8 重点医療機関における病床占有率（6月26日現在）



※ 救急受け入れをしている県内重点医療機関 16病院について集計

## 図9 今後1週間（6月27日-7月3日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県  
 年齢群別重症化率； 厚生労働省  
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）			入院患者数（7月3日時点）		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
沖縄本島	4,094	8,244	16,601	237	286	367
宮古圏域	100	201	405	2	3	4
八重山圏域	182	367	739	6	8	11
<b>合計</b>	<b>4,376</b>	<b>8,812</b>	<b>17,745</b>	<b>245</b>	<b>297</b>	<b>383</b>